

令和元年(2019年)第4回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 9月4日(5日)

No.	質問者	質問項目(答弁者)
1	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 教員増と少人数学級の拡大で行き届いた教育の推進を(教育長)</u></p> <p><u>一問一答方式</u></p> <p>教員の多忙化解消は喫緊の課題である。そのためにはもっと教員を増やし、負担軽減を図っていくことと、現在4学年で実施している少人数学級の完全実施が必要である。</p> <p>質問1: 教職員の働き方改革はどのくらい進んだのか。</p> <p>質問2: 市内の学校では、受け持ちの時間数は平均どのくらいか。教員一人当たりの受け持ちを「1日4コマ」にするには、先生がどのくらい必要か。</p> <p>質問3: 来年度の授業時数増加に対しては、どのような対応をしていくのか。</p> <p>質問4: 少人数学級を他学年でも広げていく計画はないのか。</p> <p><u>2. 就学援助の入学準備金の支給基準を下げないで(教育委員会事務局長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>就学援助入学準備金の入学前支給が可能になるように、文科省が2017年3月に補助金交付要綱を出している。しかし、支給基準を下げたために、利用できない人が出ている自治体がある。本市の場合はどうか。</p> <p>質問1: 本市の就学援助の入学準備金の支給基準と利用状況はどうか。</p>
2	澤野 伸 (会派きずな)	<p><u>1. 消費税増税に対する施策の市民への周知は(企画部長・観光経済部長・市民部長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>10月の消費税10%への引き上げと同時に、軽減税率の実施、ポイント還元をはじめ、プレミアム付商品券、所得の少ない高齢者への介護保険料の軽減などの施策が開始する。このような消費税に対する施策の周知は。</p> <p>質問1: 消費税対策の施策の周知は。</p> <p>質問2: 補助制度など事業者への周知は。また商工会議所などとの連携は。</p> <p>質問3: 「自治体ポイント」制度への本市の関わりと取り組みについて。</p> <p>質問4: マイナンバーカードを活用して地域経済の好循環に向けた取り組みの現状と課題。</p> <p><u>2. 可児市一般廃棄物処理基本計画の進捗は(市民部長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>平成28年4月に出された可児市一般廃棄物処理基本計画に示されている、不法投棄に対する取り組みと、災害時におけるごみを適正に処理できる体制の確保に向けた、地域防災計画、災害廃棄物処理計画の見直しの状況は。</p> <p>質問1: 災害廃棄物処理計画の見直しについて。</p> <p>質問2: ごみ出しが困難な市民の支援について。</p> <p>質問3: 不法投棄に対する市の対応は。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
3	山田 喜弘 (可児市議会公明党)	<p>1. 改正健康増進法一部施行に対する取り組みについて（総務部長・こども健康部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>昨年7月に改正健康増進法が成立した。本年7月1日より一部が施行され、それにより受動喫煙対策が強化された。庁舎や学校等の第一種施設は原則敷地内禁煙が求められる。本市の取り組みについて伺う。</p> <p>質問1：本市が設置・管理する公共施設等の受動喫煙対策の現状と取り組みについて。</p> <p>質問2：路上喫煙防止を含む受動喫煙防止条例を制定してはどうか。</p> <p>質問3：受動喫煙対策に取り組む市内中小企業に対し費用を助成してはどうか。</p> <p>質問4：中学生等がボランティアに参加する催事に、主催者に対し受動喫煙対策を市として求めているかどうか。</p> <p>2. 地区防災計画及びマイ・タイムラインについて（総務部長・教育長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>地域防災力向上に向け、災害対策基本法第42条の2に規定する地区防災計画、マイ・タイムラインの普及啓発、危険区域の避難行動要支援者への対応等について本市の見解を伺う。</p> <p>質問1：地区防災計画について。</p> <p>質問2：マイ・タイムラインの普及啓発について。</p> <p>質問3：情報ツールを持たない、支援を求めない危険区域の要支援者への今後の取り組みについて。</p> <p>質問4：新避難勧告ガイドラインの5段階レベルによる避難情報について課題は何か。</p> <p>質問5：逃げ遅れゼロを目指す「逃げキッド」を市内小中学校で活用してはどうか。</p>
4	板津 博之 (会派きずな)	<p>1. 本市の投票率向上に向けた取り組みを問う（選挙管理委員会書記長、教育長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>第25回参議院選挙の投票率は48.80%で、衆院選を含め、国政選挙としては過去最低だった1995年の参院選以来24年振りに50%を割り、低投票率となった。本市の投票率向上に向けた取り組みを問う。</p> <p>質問1：開票作業に遅れが生じるなどの問題はなかったか。</p> <p>質問2：期日前投票所の効果はどうだったか。また、運営面でのトラブルはなかったか。</p> <p>質問3：今後、期日前投票所を増設する計画はあるか。</p> <p>質問4：本市では、投票率向上のためにどのような取り組み（啓発）をしてきたのか。これまでの取り組みの効果検証も踏まえてお答えください。</p> <p>質問5：小中学生への主権者教育という点でどのような取り組みをしているか。また、今後新たに取り組んでいく計画はあるか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	渡辺 仁美 (立憲民主党 市民の声)	<p><u>1. 子どもの貧困対策推進法の改正を受けて (こども健康部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>子どもの貧困対策推進法が本年6月に一部改正された。主な改正点は、子どもの「将来」だけでなく「現在」に向けた対策とすること、また計画策定努力義務が市町村にも課された。これを踏まえ今後の方針を訊く。</p> <p>質問1：子どものいる世帯への生活状況実態調査が始められたが、その概要を尋ねる。</p> <p>質問2：法律の目的規定に「現在と将来」と明記された。「現在」に向けた対策として具体的な取り組みは。</p> <p>質問3：子どもの貧困対策として、計画策定に取り組んでいく考えはあるか。</p>
6	山根 一男 (立憲民主党 市民の声)	<p><u>1. 地域医療を守るには (こども健康部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>高齢化が進む中、可児とうのう病院を代表とする地域医療の充実は、喫緊の課題であり市民の強い要望でもある。医師不足の中、当市の地域医療の現実には厳しいものがある。どのように市民要望に応じてゆくのか。</p> <p>質問1：可児とうのう病院に対する医療機器整備助成事業の内容と成果は。</p> <p>質問2：地域の中核病院に対して、どのような支援が可能か。</p> <p>質問3：救急搬送について、最近5年間で市内病院の受け入れ数はどうか。</p> <p>質問4：当市の医療の充実について、市民の要請にどのように応えてゆくか。</p> <p><u>2. 屋外広告物のルールについて (建設部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>市内には様々な屋外広告物がある。市民生活に役立つものもあれば、時には景観を台無しにしたり、不快感を与えるようなものもある。屋外広告のルールを認知することにより、住み心地の良い可児市を実現したい。</p> <p>質問1：屋外広告物についてのルールはどうなっているか。</p> <p>質問2：平成30年度実績で、市内には1092件の屋外広告があるが、すべて網羅されているのか、その管理システムや収入金額などを明示してほしい。</p> <p>質問3：当市広見東地区は、県の条例で屋外広告物モデル地区に指定されているが、どのような経緯からか。また、そのような地区を増やすことは可能か。</p> <p>質問4：独自に屋外広告条例を持つ自治体が多いが、当市には必要はないのか。</p> <p>質問5：目に余るような広告、登録されていない広告がある場合どのような手続きが必要か。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
7	田原 理香 (会派きずな)	<p><u>1. 地域自治を高め、「住民同士が支え合う地域づくり」について、行政はどのような展望をもっているのか。(市民部長・福祉部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>地域自治の力を高め、地域の課題を住民自らが解決していくには、何よりも支え合いがあつてこそ、地域の未来は切り開かれると考える。「互いに支えあう地域づくり」を進めるために行政が出来ることは。</p> <p>質問 1：可児市の地域福祉計画にもある地域福祉の視点からの住民自治のあり方についてどのような展望を持っているか。また、その実現のための具体策は何か。</p> <p>質問 2：地区センターを拠点にした地域課題解決のためのモデル事業の経過及び現状をどのように捉えているか。それを受け、今後どのように展開していくのか。</p> <p>質問 3：提案：「井戸端会議大作戦」のモデル地区をつくるなど、市内各地区への展開についてどう考えるか。</p> <p>質問 4：地域力を高める女性のネットワークを地域づくりに生かし、行政の施策にも反映すべきと考えるがどうか。また、そうした活動を後押しする仕組みを考えてはどうか。</p>
8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. リニア建設工事の汚染残土対策は公表を (市民部長、建設部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>微量の放射線物質ウランが出土した。有害物質の汚染土処分と同様、事業者はそれ以降は残土の性状を公表していない。本坑掘削への住民不安に向き合わず不誠実だ。事業者、岐阜県は汚染土対策の情報を開示すべきだ。</p> <p>質問 1：大森区内の可児市公共残土処分場への汚染残土仮置き場設置案のその後は？</p> <p>質問 2：県埋め立て規制条例による残土有害物質情報を公表する責任はどこにあるか。</p> <p>質問 3：大森川流域の降雨量の実態はどうだったか、2010 年 7-15 水害禍から検証を。</p> <p>質問 4：リニア工事で大森川をどのように利用するのか、その影響と安全性は？</p>
9	松尾 和樹 (無所属)	<p><u>1. 若い世代の市政への参画と協働について (選挙管理委員会書記長、企画部担当部長、文化スポーツ部長、市民部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>今後、日本全体で少子高齢化が加速すると予想されている中で、次世代の地域人材育成を計画的かつ効率的に推進していく必要がある。可児市の取り組みはどうなっているか、具体的に教えてください。</p> <p>質問 1：投票率を改善する為の取組みは？</p> <p>質問 2：全国山城サミット及び NHK 大河ドラマを若者の市政への参画と協働に繋げるには？</p> <p>質問 3：成人式参加者と、成人式後も関係は続いていますか？</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。